

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

県政を
もっと
身近に


<http://www.araiKinuyo.jp>

相談窓口、対策本部、対策サイト、補正予算 新型コロナウイルスへ神奈川県が取り組み

新型コロナウイルスの感染症の問題や対策が世界的な話題になっています。1月16日、神奈川在住の男性が国内で初の感染者として確認され、その後、乗客に感染者がいた豪華客船(乗客・乗員約3700人)が横浜港に入港したり、日本人初の死者が県内の80代の女性だったなど神奈川に注目が行く事態ともなっています。

こうした中、県でもさまざまな対策を打ち出し、対応に追われています。1月25日、県庁に新型コロナウイルス感染症専用ダイヤルを設置して相談への対応をスタート。3月1日からは24時間対応の帰国者・接触者相談センターを県庁や各保健所に設けました。2月26日に対策の軸となる県の基本方針を決め、一方で対策に当たる中心組織として3月2日に県庁に対策部会を新設。体制を強化するため、3月16日には国にさきがけての対策本部となる神奈川県対策本部(知事が本部長)を発足させました。また情報関連の機能として3月11日に同感染症対策サイトを立ち上げました。医療機関への調査や連携を通じて情報を集めたり、福祉事務所や市町村などの情報共有、県内の情報を集約し、一般公開したりするのが目的です。さらに県では取り組みを推進するため3月23日、開会中の県議会定例会に当初予算案への補正予算案を提案。総額約36億3,046万円で、これを含んだ2020年度に一般会計当初予算は3月25日の本会議で採決されました。

補正予算の主な内容としては、◆感染拡大の防止対策に5億5,340万円=児童福祉施設や介護施設等に配布するマスク・消毒薬の購入など。◆感染症患者の受入体制の整備に6億5,857万円=感染症患者が入院する医療機関の簡易陰圧装置などの設備整備や病床確保に係る医療機関への病床補償、感染症患者の医療機関への搬送など。この他に、県衛生研究所と理化学研究所が共同開発した、最先端技術を利用した新型コロナウイルスの迅速検出法の実証研究費に1,000万円を計上。

同感染症ではいかに感染拡大を防ぎ抑え込むのかと同時に、大勢が参加するイベントの中止、外出や観光の自粛などで生産・消費・サービス活動が停滞し経済に悪影響をもたらすことにどう対処するかが大きな問題になっています。県でも中小企業を中心にさまざまな対策を講じていますが、今回の補正予算でも特別融資を受ける際の引用保証料に対する補助の拡充として約3億円を計上しています。

いずれにせよ各種施策は有効に行われなければ意味がありません。県政の一翼を担う者として見守り、提言に力を入れていきたいと思えます。



コレが言いたい!

県では、2月26日、関係事業者団体代表などに取引が中小企業の不利益にならないよう、金融機関には金融の円滑化の要請を実施。1月30日に県庁、商工会・商工会議所など45カ所に経営相談窓口を設置するなど、中小企業を中心にさまざまな対策を講じています。経営相談窓口によせられた相談の多くが「イベントの中止・延期が相次いでおり資金繰りが厳しい。」「コロナウイルスの影響で売上減が顕著。支援融資について知りたい。」などで、いかに感染拡大を防ぎ抑え込むのかと同時に、人や物の動きが停滞し、事業活動を縮小せざるを得ない事業者が多数生じており、雇用の維持と事業の継続にどう対応していくかが大きな問題です。補正予算も計上されましたが、今後も状況を見ながら提言を行っていきます。

今月のひと言

改正された健康増進法が4月1日より全面施行されます。2人以上の人が同時に、又は入れ替わり利用する施設において「原則屋内禁煙」となります。神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例により、「禁煙」の表示義務や未成年者の喫煙区域等への立入規制に対する罰則適用など法を上回る規制が県では適用されます。

磯子あれ? これ?

海照寺（磯子区坂下町）

海照寺の開山、開基はいつなのか不明です。

わかっていることは、中興開山したのが尊珍(そんちん)で、年代は寛永8(1631)年頃、寛永10年に死去=関東古義真言宗の本末帳に「宝生寺の末寺」と記されています。それ以前に開創があったようですが、確証はありません。

当寺は昭和9(1934)年に新四国東国八十八ヶ所霊場の五十一番霊場となりました。本尊は「地藏菩薩立像」で台座を含め高さ四尺八寸(約1m40cm)の木像です。材料には「赤栴檀(しゃくせんたん)」という珍しい香木が使われています。作者は聖徳太子といわれていますが、その作風から鎌倉時代末期のものではないかとみられています。

当寺の墓地には幕末の頃、横浜で最初に西洋野菜を作った清水辰五郎氏や根岸小学校の前身「志敬学舎」の初代教員を務めた人のお墓があります。

本堂手前の客殿に江戸中期に描かれた縦2m.横3mの大きさの高野山全景の日本画が飾られていて、時には絵を覗に来たり、写真を撮りに来る人もいます。

参考:磯子の史話、海照寺住職のはなし



海照寺「地藏菩薩立像」

活動報告

2月26日(水)本会議にて一般質問を行いました。



今定例会、最後の厚生常任委員会。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルフン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 厚生常任委員会委員長
- 議会改革検討会議委員
- グランドデザイン調査特別委員会委員
- かながわ自民党女性議員局長

